



プロフィール やまぐち・よしのり
平成元年東京大学法学部卒業、同年、旧自治省（現総務省）入省。自治省・総務省では、内閣官房内閣安全保障・危機管理参事補として災害現場の最前線を指揮。総務省過疎対策室長として日本の過疎問題に正面から取り組むなど数々の職務を経験する一方、秋田県地方課、鳥取県観光物産課長・財政課長、同県商工労働部長、長崎県総務部長を歴任するなど地方自治体においても豊富な経験を有す。また、平成25年4月からは、官民交流でJTB総合研究所地域振興ディレクター、ラグビーワールドカップ2019組織委員会事務総長特別補佐を務めるなど民間でも活躍。東京大学教授（大学院総合文化研究科）、地域活性化伝道師（内閣官房）、地域力創造アドバイザー（総務省）として全国の地域支援に尽力。平成27年1月、佐賀県知事に就任。

今 年1月に就任した山口祥義・佐賀県知事。子どもの頃のエピソードや学生時代の思い出、将来を決めた瞬間から、佐賀県の将来像まで、ざっくりばらんに語ってもらった。

（取材日・2015年3月31日）

—— 知事就任から3カ月。どういう毎日でしょうか？
分刻みで動いています。会いたい、と言つて下さる方が多いことがとても嬉しいです。現場に出かけていたり、会いに来てくださったり。方針を決める打ち合わせや会議に参加することも多いです。本当の休みは一日もありません（笑）。街を歩いていて、知事さん、と手を振ってもらったりすることも増えてきました。頑張ろうという気持ちになりますね。

特集

地方から攻める



少しずつ知って頂けているんだなあ、と実感しています。

常に気が抜けないと実感しています。マスコミの方などから、突然囲まれたり、見解を求められることもあります。就任直後には鳥インフルエンザが発生し緊急対応が必要になりました。いま連絡がきたらどう動くか、という心構えでいるので、あまり深酒もできないし：本当に気が抜けません。

先日、初めて気功に行つて、「気」を抜く練習をしました。緊張の続く毎日なので、意識して気を抜かないといけない、と実感しました。もう少しすれば、知事という仕事に折り合いがつけられると思いますが、まだがむしやにやっている毎日です。

話を聞くリーダーの原体験

—— 両親は福岡町出身。お父さんが航空自衛官で全国を転動していたと聞く。どういう子どもだったか。また帰省時の佐賀での思い出は？

育ったのは基本的に東京と埼玉でした。入間や所沢など、ちょこちょこ引越していました。父は途中で松島や小牧に単身赴任していたと思います。小学校3年生まで夏休みのたびに佐賀に帰っていました。地元の子どもたちに連れられて遊んでいました。弓矢を作ったり、公民館でいたずらしたり。自転車に乗ってけがをして、福富の診療所で治療してもらったことも覚えています。叔父さんの選挙の時は軽トラに乗ったり。訳も分からず手を振っていました。
幼稚園の時はとても孤独だったような気がします。あまり友達と遊んだ記憶がありません。人と話すのが怖かったり、給食が食べられなくて、一人残って食べ

させられたりしていました。強い人間が歩いていけると、あいつの前は歩きたくないな、と思ったり。友達がいなかったので自信がなかったんだと思います。

でも小学校1年の時の運動会でリレーの選手に選ばれてから変わりました。おそらく鹿島高校の陸上部だった父譲りなんでしょうが、足が速かったんです。男の子に一目置かれるようになり、自信ができました。みんなの中心として動いていくようになりました。

逆に自分が何でもやるもんだから、クラスメイトに一齐に無視されたことがあります。小学校4年のときだと思っていますが、痛烈な思い出です。自分が自分、というリーダーは受け入れられないんだ、と身を持って感じました。何日間かした後に、クラス会でみんなが「別にやまぐちちゃんのことを嫌いだ」ではなくて、やっぱり全部一人でやるのがどうかって思ったんだよね」と言ってくれて解決しました。それからは本当にみんなのことを気にするようになりました。そうか、自分が知らないところで、いろんなことを考えたり、傷ついたりしている人がいるんだなって。今に繋がる大きな原体験です。

サガンでは林選手に注目

—— 子どもの頃の夢は？ どんなスポーツをしていましたか？

運転手になりました。子どもって、大きなものを動かすことに憧れるでしょう。大工さんにも興味がありました。小学校の頃からサッカーをしていました。埼玉はサッカーが盛んなので運動が出来る子はサッカーか野球を選びます。足が速かったのでポジションはウイング。走りまくって、シュート打ったり、

センターリング上げていました。憧れの選手は足の速い選手。サガン鳥栖の水沼宏太選手のお父さん、水沼貴史選手とか。チームとしてはなぜか日立を応援していた思い出があります。成長すると相対的に足が速くなくなつて、中学校、高校とポジションがだんだん下がってきました。秋田県庁にいたときまでプレーしていました。最後はDFです。

――経験者の知事から見て、サガン鳥栖のサッカーの見所は。

堅守でありながら、一発で決める武器を持つているチーム。エースFWの豊田陽平選手を軸に1対0で勝つ、玄人受けするサッカーだと思います。0対0でも、局面、局面で必ず闘志を持ってプレーしているの、見ていて面白いですね。守備ではGK林彰洋選手のプレーに注目しています。毎試合、2点分の活躍をしていると思います。

一大決心ラ・サール高校へ

――中学、高校時代の思い出を聞かせてください。

中学は都内の私立中学だったんですが、そのまま進学せず、高校から鹿児島県のラ・サールに行きました。自分としては勇気を最大に振り絞つての行動でした。

中学のとき、インペーダーゲームとかギャラクシアンが流行っていました。サッカー部の試合の後などは、みんなで遊んでいました。それはそれで楽しいんですが、このままだと、自分が駄目になるような気がなんとなくして。中学校は白禪で泳がされたり、剣道の寒稽古があったりと質実剛健な校風でした。男っぽいに憧れていたので気に入ってはいたんですが、もうちょっと自由がほしいとも感じていました。原体験である九州への憧れもあり、学校には黙って、内



格好良い知事であり続ける

申書が不要だったラ・サール高校を受験しました。鹿児島に一人で行ったことは、自立への大きな力になりました。九州に対する愛着という面でも本当に良かった。高校時代は鹿児島から佐賀によく帰っていました。今思えば、すべての行動が繋がっています。

ラ・サールでは、テレビは週に1回、木曜夜9時からの「ザ・ベストテン」だ

け。それ以外は土日、みんなでスポーツしたりとか、男同士で語る場が多かった。自分にとって原体験になっています。東大進学を目指していましたが、具体的な目的はありませんでした。ただ、東大に行けば、選択の幅が広がると思っていました。

ラ・サール新聞という壁新聞があり、当時は、東京に行って、堀ちえみさんや、中森明菜さんのインタビューをしてい



――いち早く育児休暇を取るなど教育にも積極的に取り組んでいる。山口家の教育方針を教えてください。

我が家の教育方針は、自分で考えて、自分で行動して、自分で責任をとること。あとは愛情を力いっぱい注ぐこと。

子どもは中学2年生と小学6年、小学3年の3人です。一番下の子は佐賀の小学校に通っています。小6の女の子は山村留学で群馬の山あいの学校に通っていて、先日卒業しました。一番上の子は都内の学校に通っています。進路などは子どもが自由に選べるようにしています。

過疎対策の仕事をしていたころ、晩ごはんの時に山村留学の話をしていたら娘が反応したので、説明会に連れて行っただけです。受け入れ先の子どものたちの雰囲気を入ったようで、体験入学を経

て1年間、生活していました。卒業後、娘は都内に戻るのを嫌がっていたんですが、佐賀で暮らすなら良いかも、と言って、4月からはこちらの学校に通います。

教育において、自分で考える癖をつけることはとても大事だと思います。先日、取材で、佐賀県民の素晴らしいところを尋ねられました。人が愚直に真面目にしっかりとやる所だ、と答えました。マイナスの面も聞かれたので、個人のところで、プラスアルファの行動や前向きなチャレンジがなかない、パスを回しているだけということが多く、と答えました。やはりシートを打つ人を育てなければいけないと思っています。

――趣味や好きな音楽は？

趣味はいろんな地域を回ることです。

高田みづえさんの助言で

――その後、東大法学部に入學し、卒業後、自治省(現総務省)に入省。官僚の道を選んだきっかけは。

大学生のころは、広告関係のようなことをやっていた。芸能事務所でのバイトをしていたので、学園祭のイベントで有名人をブックイングしたり。最後の最後まで民間に就職しようと思っていた。官僚の道に進む決めた手になったのは、タレントの高田みづえさんのアドバイスです。まだ四谷にあった文化放送の前のちゃんぽん屋で高田みづえさんと一緒にご飯を食べていると、高田さんから「山ちゃんね、だめよテレビ局なんか、せっかく東大行ったんだから、人のためになることやらないよ」と言われた。このアドバイスが非常に大きかった。

――自治省入省後は主に地方自治活性のため、秋田、鳥取、長崎へ。思い出深いエピソードを。

鳥取県では観光課長や商工労働部長など、自治省らしくないようなイベントや企画系の仕事をやるのが多かった。鳥取のときは、高知によさこい祭りを見に行つて、これは見るんじやなくてやる祭りだ、と思いました。鳥取県でよさこい隊を作つて、毎年、自分も一緒に出ていました。「空飛ぶ温泉」と銘打つて、全日空に掛け合い、温泉を飛行機に乗けて東京に運んだりしました。マスコミにも面白がつてもらいました。

大阪の美容師の女性たちを鳥取に招待したこともありました。髪を切っている

日本全国はほとんど足を運んでいます。外国は中国や韓国、台湾やアメリカ西海岸が多いです。

好きな音楽は…尾崎豊さんかな。選挙のときは毎晩、「僕が僕であるために」の歌詞をアレンジして聴いていました。「佐賀が佐賀であるために、勝ち続けなきゃならない」と。選挙の応援に来てくれた友人が勧めてくれました。歌詞も深みがあります。しかも聴いていたのが寒い時期だったので、余計に沁みました。

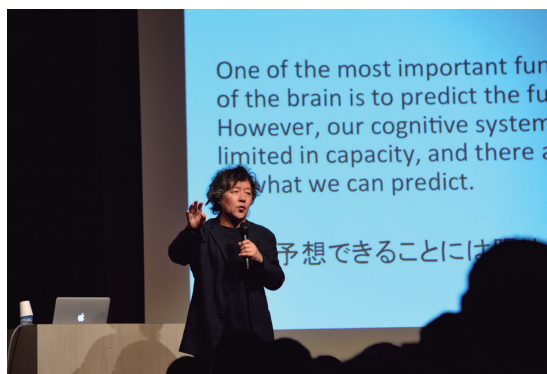
「壮大なる田園都市」を共に

――未来の佐賀をどうするのか。モテモテ読者へメッセージを。

佐賀は素晴らしい歴史を持っている場所だと思います。そういったものを尖らせ、市民が大切に作る環境を作ることが大事だと思っています。さまざまな重みのあることを大切にしているのに、それを外に出そうという努力がもう一歩だと感じます。外の人が来るという意識が足りないのかもしれない。

例えば街並みも実用主義的すぎると感じます。県庁前通りや中央大通りなど、もつと観光客をわくわくさせるようなものになれば良いのに。深みのある歴史に敬意を表して、前に進むという姿勢が大事です。

佐賀人が自虐的すぎるのも問題です。佐賀はつまらないという人が多いですが、そんなことはありません。これから世の中に対して、自虐ではなく、佐賀の格好良さを発信していきたい。佐賀のさまざまな光るものを育て、外に打ち出さなくてはなりません。そのためには自分自身も福岡や東京や大阪に負けない格好良い知事であり続けたいと思っています。「壮大なる田園都市」として、佐賀に対する意識を一緒に変えていきましよう!!



次回開催日 8月24日(月)
12月7日(月)
先着300名 ※要申込
入場料 2,160円(税込)

お問い合わせ・お申込みは
株式会社 Sagashibun Bunka Center
佐賀新聞文化センター 0952-25-2160

驚きがない人生は短く
歳をとると、予想できないことを避けるようになる。予想しない出来事は主観的には「長く」感じる。もし1年があったという間に過ぎて行くと感じるなら、人生にサプライズが足りていないということだ。脳の感情と記憶のシステムは予想できないことに対応するためにできている。記憶力が低下しているのならば、生

活に喜怒哀楽が足りないのかもしれない。TVドラマ「北の国から」の名シーンを覚えてほしい。元妻の葬式に出てとんぼ帰りした五郎を非難する東京の人たち。だまって聞いていた親類のおじさんが、なぜ五郎がそうしなくてはいいなかったか説明する。1万円ちよつとがなくて飛行機ではなく夜行列車を使っているんだ、と。また純と蛸が、古くなって処分した靴を取り戻すため、靴屋の店先のゴミ置き場を探す。警察官はそれをとがめようとするが、事情を聞いて、一緒に靴を探してくれる。ここには二つのサプライズがある。一つは東京の人間にとって、1万円ちよつとを立用立てるのが大変なことだということ。想像もつかないということ。そして詰問口調の警察官が靴探しを手伝ってくれたこと。良い脚本にはサプライズがあり、それが感動を呼ぶ。心を動かされたものは記憶に残る。

最大のサプライズとは自分自身かもしれない。どんな長所や短所があるのか。そういうものに気づいて受け入れることが一番の幸せなのかもしれない。

質疑応答
Q サプライズがばけ防止によさそうなのは分かった。どうすればサプライズを生活に取り入れられるのか？
A 自分がやったことがないことをやってみる。無茶ぶりというか、何も考えずにやっちゃう。できないとか考えてはいけない。佐賀新聞文化センターにはいろんな講座がある。フラダンスとか、新しいチャレンジをしてみることも効果的だ。

Q 介護施設で働いている。認知症患者

にどう対応したら良いのか。
A 人によって症状が違うので難しい。基本的には患者さんは自分自身のことを信じられなくなり、身の回りのことが分からなくなると不安が募ってくる。それが怒りや恐怖などネガティブな感情になってしまふ。その感情を受けとめることが重要だ。本人に悪気がなく「脳がそうなったから」と捉えることも必要。患者さんが嬉しいことをできるだけしてあげてほしい。またケアは余裕がないとできない。オフは充分に楽しんでほしい。

Q 上司のサプライズパーティーを企画している。仕掛ける側にも良い影響はあるのか？
A 他人のために行動すると、脳は自分のことのように嬉しく感じる。サプライズの計画を練ることは脳の前頭葉のためにも良いことだ。脳がすこく成長する。

IDEAS WORTH SPREADING

驚きが脳を活性化する

スーパープレゼンテーション

SUPER PRESENTATION

～頭がいいって何？
わかるって、どういう事？～

サプライズこそ若さの秘訣。「感情は予想できないもの」をテーマに佐賀市のエスプラッツホールで開催された脳科学者・茂木健一郎さんのスーパープレゼンテーション。名作ドラマや話題の動画などを自在に使いながら、楽しく、最新の脳科学の成果を紹介してくれた。

講演要旨

かつて日本文化は地方が支えていた。松阪で暮らした本居宣長、山口の松下村塾。その時代最先端の「知」が、全国いろんなところに存在していた。現在、文化は大都市に集中している。頭の良い人や才能はどこにでもいるはずなのに、地方にはそれを伸ばすきっかけが少ない。今回は脳科学の最先端をみなさんに紹介する。実際に東大や早稲田大で講義している内容と同程度のことを話したいと思う。

人間の予想には限界

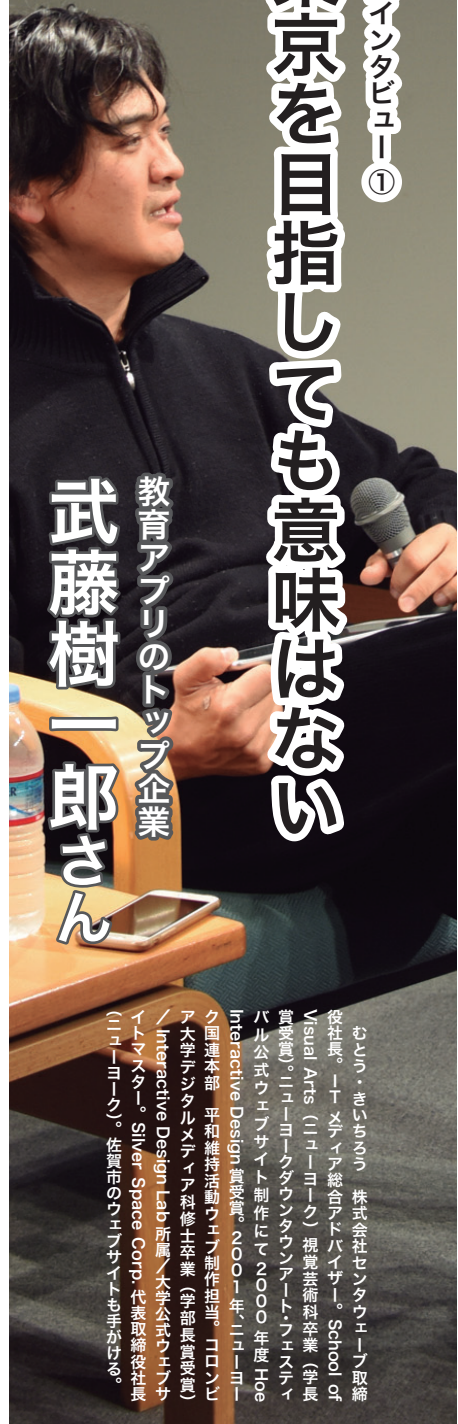
最初の動画を見てもらいたい。2011年3月11日のテレビ番組のものだ。当時は国会中継を放送していて、それに緊急地震速報がかぶっている。議場が大きく揺れているのが画面でも伝わってくるのに、審議はなかなか止まらない。緊急事態になると、人は今までどおりの行動をしたがるバイアスが掛ることが分かる。次の動画は福島第一原発で爆発が起き、白煙が上がっている様子を伝えるもの。マスコミは「なぜ予想できなかったのか」というが、脳が予想できることには限りがある。

「ブラック・スワン」という言葉をご存じだろうか。2000年代に注目を集めた書物のタイトルでもあるこの言葉は、オーストラリアで黒い白鳥を見たヨーロッパの人が驚いたことから、予想できない出来事を意味している。最近であるとIS(自称「イスラム国」)やSTAP細胞など予想できないことだら

公開インタビュー①

東京を目指しても意味はない

教育アプリのトップ企業 武藤樹一郎さん



むとう・きいちろう 株式会社センタウエーブ取締役社長。ITメディア総合アドバイザー、School of Visual Arts（ニューヨーク）視覚芸術科卒業（学長賞受賞）。ニューヨークタンタウアート・フェスティバル公式ウェブサイトで制作にて2000年度Interactive Design Award受賞。2001年、ニューヨーク連本部 平和維持活動ウェブ制作担当。コロンビア大学デジタルメディア科修士卒業（学部長賞受賞）/Interactive Design Lab所属/大学公式ウェブサポーター。Silver Space Corp.代表取締役社長（ニューヨーク）。佐賀市のウェブサイトを手がける。

佐賀から世界へ。2015年度の公開インタビューは、佐賀市内でアプリ開発会社を運営する武藤樹一郎さんと、全国的に活躍するゆるキャラ・有明ガタゴロウさんを招いて、世界と戦う秘訣。また佐賀から発信することへの思いを聞いた。

武藤樹一郎さんは「ミライプロジェクト」というブランド名で教育関連を中心にしたアプリを開発。教育関連のアプリでは、全国有数の企業として有名です。また円谷プロダクションとの共同開発なども注目を集めています。まずアプリ開発を始めたきっかけを教えてください。

まだ東京に住んでいた4年前に始めました。当時は銀座に住んでいて、アップルストアの前を通っていたら、すごい行列ができていた。初代iPadの発売日で、面白そうだったので、そのまま並んで購入しました。その時、子どものためにアプリを作ったのが最初です。約2週間で作りました。これがヒットして、現在もランキングに入っています。でも本格的な開発は、東日本大震災後、佐賀に帰ってきてからです。ウェブ関係の会社とは別にアプリ用の会社をゼロから立ち上げました。

1日で10万ダウンロード

これまで作ったアプリはどれくらいですか。また一番多くダウンロードされたものは？

約70タイトルです。iOSやAndroidなど、いろんなバージョンを合わせると250種類くらいあります。1番ダウンロード数が多いのは、「折り紙」の第2弾「動物折り紙」です。無料版で多いときは1日10万ダウンロードくらいありました。日本だけでなく、中国でも人気があります。日本よりも英語圏の方がダウンロード数が多いです。このアプリは、アップルの次のプロモーションに使用されることが決まっています。お店に掲示されるポスターとか、英語圏を中心に展開される予定です。

アップルの「顔」として選ばれた理由は？

「折り紙」自体が向こうではホットなんです。そのジャンルで一番良いということ選ばれたのではないでしょう。初代の折り紙アプリを作った時、立体的に動く方が良いという意見もありましたが、シンプルに子どもが本当作りやすいものにこだわりました。アニメーションより、頭で立体的を考えて作っていくことが重要だと思っています。そういう点もアップルの考え方に近かったのでは。

アップル側と直接話しているんですか！

しょっちゅうやりとりをしています。現状の問題点とか、新しいアプリをリリースしたら紹介してもらえようというお願いしたり。一緒にやっているような感じですね。去年くらいから連絡が来るようになり、東京のアップルのオフィスでミーティングしたり。その少し後から、グーグルからもコンタクトが来ました。量的には小学生向けの教育アプリでは一番になっているので、そういう話が来ます。

なぜ教育分野に狙いを付けたんですか。

田舎でもできるというところが大きいですね。漢字でも社会でも、問題はどこでも作る

公開インタビュー②

全国5位!!のご当地キャラ



有明ガタゴロウさん

有明ガタゴロウさんは、佐賀を勝手にPRするご当地キャラ。全国のゆるキャラファンの中では有名で首都圏のイベントにも出演するなど活躍の場を広げています。2014年に開催された「東西対抗 ご当地キャラ&ヒーロー大合戦」では西日本の非公認部門3位、全国5位に輝きました。まずプロフィール？を教えてくださいませんか？

有明海に住むムツゴロウ！年齢は永遠の56歳。ゴロウなので56というありがちな設定？ガタシロウ、ガタジロウ、ガタサブロウ、ガタシロウ、ガタゴロウの5人兄弟ガタア。

佐賀を知ってもらいたい

ご当地キャラを始めるきっかけは？

佐賀って良いところいっぱいあるけど何となく地味ガタよねえ。それすごく寂しいなって思ってた。だから、いろんな人に、佐賀を知ってもらいたいと思ってキャラ活動をしているガタア。

おすすめしたい佐賀の良いところは？

いろいろあるガタアよ！温泉とか美味しい食べ物とか風景とかお祭りとかいっぱいあるけど、一番のオススメは佐賀に住んでる人！人の温かい心。これは他の県とは違うガタアよ。子どもの頃、ワラスボクさんと泥団子を作ってたときに、人間に捕まっていたところがあるガタア。ムツ掛け漁の針がヒレのところに引っかかってビュッと持っていたガタア。でもムツ掛けおじさんの子どもがオイをリリースしてくれたガタア。そのときに佐賀人の温かさに触れて、佐賀が好きになったガタア。



ベアスタのピッチでサガン鳥栖を応援!!

きっかけは？

まだこんなに大きな姿じゃないとき、パペットサイズの「魂の仮容れ物」だった3年くらい前に、埼玉のキャラ仲間のおふっちゃんに「誕生日に遊びに来て」と呼ばれて参加したのがきっかけ。そこでいろんなキャラと出会って、ネットワークが広がるガタア。大きくってからはガンガン呼ばれるようになったガタアよ。

ガタ汁プシャー？

イベントにひっぱりだこと聞きました。なぜ人気だと思えますか？

それは、ちよっとスベるけど面白いからガタア。しゃべるキャラとしては早い方で、ラジオにもずつと出ているガタアよ。ふなっしーさんがブレイクする全然前からしゃべっ

ことができる。構造的にもゲームに比べればシンプルです。そして競合相手が少ない。おそらく3社くらいです。小学生のアプリでうとほとんど独占といってもいいくらいです。iPadにあるアプリストア内のカテゴリは意外と少ない。この中でどっぷり作れるものは何かを考え教育を選びました。自分たちのテリトリリーは作ったと思っています。

世界のスタッフとともに

3年前に取材したときは、我慢して作り続けなければいけない、とおっしゃっていました。

今もそうですよ（笑）。常にライバルのアプリ以上のものを作らなくては考えています。必ずやり返さないと気が済まないですね（笑）。倍返しが標準です。体力の奪い合いなので、売上も、こつちが取ると、あっちが減ると分かります。相手が東京のオフィスなスタッフ何人かな、とか想像したり、最近、開発スピードがスローになっているなと感じたり。常に相手を意識しています。

開発スピードはどれくらいなんですか。

今はスタックが増えたので、バージョンアップを含めるとだいたい週に1、2個リリースしています。佐賀以外にもスタッフがいいて、フランスにフルタイムのプログラマー1人とイラストと音楽担当の計3人。全体では日本人が多いですね。

グローバルな体制ですね。やりとりはどうしているんですか

コミュニケーションはチャットを利用して。時差の問題で昼夜逆転しますが、今のところ問題はないですね。実際に会うのと

ていたガタア。でも、どこに行ってもふなっしーさんの真似、とかすごい言われるから、最近では諦めて「ガタ汁プシャー」とかやっているガタア。小さなプライドは捨てて、ふなっしーさんのファンも取り込むガタア。

去年3月にふなっしーさんが佐賀に来たときに一緒に共演させていだいたガタア。TVとかみているとふなっしーさんはいじられキャラなんだけど、オイに対しては先輩目線で見つめてくる。ファンの人が「普段見れない先輩キャラのふなっしーが見れた!!」ガタちゃんありがとう一つで喜んでくれたガタア。

やはり、ふなっしーは凄いですか？

非公認キャラの地位を築いてくれたので、すごいやりやすくなったガタア。感謝しかないガタア。イベントと一緒にするとすごい優しくしてくれて。キャラ同士の飲み会でもいろいろ話してくれるガタア。その席で共演を約束してくれて、きちんと守ってくれたガタア。ほんとよくて、義理堅いし、売れているのに高飛車じゃなくて、キャラ界全体をいつも気遣ってくれているガタアよ。

実は初登場は「モテモテ」

実はガタゴロウの初登場はモテモテさがないんですよ。

違う名前前でブログ上で活動していたキャラが「ガタゴロウ」になったのはモテモテさがさんの広告マンガがきっかけ。このマンガは本当にレアものガタアよ。ヤフオクで高く売れるかも!!この前、ガンダムのコナーに登場した記事も全国のファンから見た見たいと言われたガタア。それもヤフオク出品しよう

はちょっと違うので、気をつけています。アメリカでの経験があるので、海外にいる人がどういうことに困っているのかとか、どういう時間帯で作業してもらうのかとか分かっていて比較的スムーズにできていると思います。もちろん期待通りの仕事をしてくれているが、リリスクも含めて考えています。でも海外にいる人の方が精神的に強いんですね。何も言えないと仕事が終わってきません。

ハードウェア用アプリを

佐賀を拠点にすることで問題はありますか？

いっぱいありますが、良い点もたくさんあります。佐賀のスタッフは辞めずに頑張ってくれます。NYのスタッフは、長くて2年くらいです。佐賀は高いものを目指すよりも、目の前のことをやってくれるので、張り合いのある仕事はなかなかできないが、辞めない。結果的には、そっちの方が良いことが多いです。長く続いてスキルも上がるから。あとNYや東京と比べると物価が安いですね。東京でオフィスを借りると家賃だけで50万円以上。それだけあれば、佐賀なら2、3人雇えます。アドバンテージになります。

問題は外国人が少ないこと。翻訳を頼むときに苦労します。海外の人に頼めば良いのですが、近くにいてももらった方が良いケースがあるので。

東京にいないと世の中の流れから取り残されるという不安はありませんか？

それは違うと思います。今でも新しい技術は英語の説明しかない。東京にいたって関係ないんです。むしろ、東京で余計な情報が入ってくるよりはシンプルにネット上のしっかりした情報をチェックした方が良いです。日本語で出るときにはもう遅いんです。その前にやっとなか。東京を目指しても意味はないです。

今後の目標は？

アート系のクリエイティブの高いアプリを作ったり、時計とか眼鏡とか新しいハードウェアに対応したものを考えていきたい。少しずつ準備しています。5年後は平面的なタブレットだけではなく、お掃除ロボットや車など、いろんなものにアプリが入る時代になります。大きな資本ではなくてもアイデアがあれば面白いものが作れる時代だと感じています。

かな：

お金に興味がありそうですね。結構非公認キャラやって全部自分のお金で運営しなきゃいけないから、遠征とかすごくお金かかるガタアよ!!段ボールに入って東京まで移動するのに片道1万円くらいかかる。オイのマネージャーは春秋航空のバゲン運賃737円で行っているのに!!あと宿泊費や滞在費とか本当に大変ガタア。

ご当地キャラ生活で一番良かったことや嬉しかったことは？

最近一番良かったのはベアスタのピッチに立ってサガン鳥栖の応援ができたこと!!オイもやっぱり佐賀大好きなキャラクターとして、サガン鳥栖をすごく応援しているガタアよ。いつかベアスタでウイントスくんとかとちゃんと一緒に応援したいと思っていたガタアよ。

ずっと出たかったけど、ベアスタにふさわしいキャラと認めてもらえらるまではダメだと思っていたガタア。少しでも観客動員に貢献できるキャラになれるよう頑張ってきたガタア。ただ去年の暮れ、ラジオで共演したサガンドリムスの社長さんに放送中ベアスタ出たいとお願いしたらすんなりOKもらえて。ナビスコ杯湘南戦に出ることができたガタア。ピッチに立つて胸が熱くなったガタア。サポーターのみなさんからガタゴロウコールをもらって、みんなには見えない涙が出たガタア。

あと嬉しいのは、こんなオイでもファンの人がいっぱいいてくれて、会ったら喜んでくれること。東京のファンが多いから遠征すると「ガタちゃんにやっとなかええ!!」と喜んでくれるガタアよ。

最後に今後の目標は

とりあえず佐賀での人気がないから、知名度をあげる。佐賀のイベントもちょこちょこ出ているけど、その場限りで繋がらないガタアねえ。東京だとガタゴロウ目当てで来る人もいるのに。九州はくまモン一人勝ちでキャラクター文化が全然育ってないガタア。

せっかくこうやって生まれてきたから、ゆるキャラブームと関係なしに、ずっと末長く活動したいガタア。まだいるアイツ!!みたいな感じ。佐賀の食べ物とかイベントとか積極的に応援していきたいので、どんどんオファアよろしくガタア!!